

執筆 編集・構成ガイドライン

2022/9/15

Var.1.0

■著作権について

引用は適切な扱いにおいて可能。まずは以下URLから著作権法を学んでおいてください。

▼著作物が自由に使える場合は？

<http://www.cric.or.jp/qa/hajime/hajime7.html>

▼著作権とは？Web担当者、デザイナーが知るべき著作権

<https://ferret-plus.com/1934>

▼新米Webライター必見！今更聞けない”引用”に関する5つの注意点

<https://ferret-one.com/blog/quote>

▼著作権と引用の5条件! 動画や歌詞を掲載する場合の注意点とは?

<https://webtan.impress.co.jp/e/2019/03/20/31769>

▼意外に重い！著作権侵害の罰則

<https://copyright-topics.jp/basic/penalty/>

引用をする際のルールは、以下です。

- 1 オリジナル文が“主”で、引用文が“従”になっていること
- 2 引用タグを使用すること
引用タグとは、引用・転載文であることを示すタグです。
比較的長いテキストを段落ごと引用する際に使用されます。
- 3 引用元リンクを外部リンクで掲載すること
- 4 誰が見ても引用している部分が明確になっていること
- 5 原型を保持していること
著作者の許可なく引用文を改変することは禁止です。そのまま引用しましょう。

※特に1が重要で、引用文が記事のほとんどを占めてしまうと引用の関係が成立せず、著作権違反になってしまいます。

オリジナルと引用文のコンテンツの質と量のバランスが大事となります。

これを誤ると、引用ではなく転載と言われてしまいます。

※コピーコンテンツのチェックは、「**CopyContentDetector** (<https://ccd.cloud/>)」を使い、類似率を**40%**以下になるよう心がける。

■記事の書き方について

次は、記事を書く際のルールをご説明します。以下をご確認ください。

▼記事の文字数▼

※別途指定の文字数

▼記事内の画像数▼

3つ以上

▼画像の選定▼

画像のサイトは下記サイトから画像ページのURLを表記してください。

<https://www.photo-ac.com/>

<https://www.ac-illust.com/>

例)

<https://www.photo-ac.com/main/detail/24594532?title=%E6%9F%B4%E7%8A%AC%E3%81%A8%E6%95%A3%E6%AD%A9>

▼記事タイトル(タイトル)▼

- ・記号の乱用を避ける。NG:『！？』『？？』『～』 最低限:『！』『？』
- ・文字と文字の間は『半角』、『・・・』、『、』『。』を使う。文末には『。』は使わない
- ・発言コメントは「」、固有名詞は『』、強調したいフレーズは”“を付ける
- ・全角25文字以内にまとめ、同じ単語は避ける。注目されるキーワードを含める

▼記事の書き出し(導入文・概要)▼

記事の書き出しは、読者が先を読み進めたいくなる(先が気になる)ような文章を200文字程度目安に書いてください。

▼見出し▼

- ・大見出し(H1)は全角24文字まで、小見出し(H2)は全角28文字まで
- ・体言止めで句点なし、記号はできる限り使わない
- ・本文との間には行間を空けない(文字サイズ変更のみ)

▼本文▼

- ・「です・ます」調で統一する
- ・喋り口調はなし(ですよね、でしょうなど問いかけNG)
- ・箇条書きの場合は文末に句点をいれない。2文の場合は、最後の文末には入れない
- ・画像や図などがユーザーにとって必要なものがあれば、配置する
- ・固有名詞やセリフを囲う際は、「」
『ハフイントンポスト』ではなく「ハフイントンポスト」。
- ・作品名を囲う際は、『』
「ドラえもん」ではなく『ドラえもん』。
- ・引用や強調をする際は、“”
(例)ドラえもんは“猫型ロボット”です。
「～。」の“。”は消す
「～です。」などは「～です」と表記します。
- ・「～()」のときの句読点入れは、記事内で統一されていればOK
- ・だと思います。(実はそうなんです。)
- ・だと思います(実はそうなんです)。
・句点、読点は半角を使う。『、』『。』を使う。
- ・「～()」のときの句読点入れは、記事内で統一する
└例: だと思います。(実はそうなんです。)
- 例: だと思います(実はそうなんです)。
- ・『！』『？』の後ろは全角スペースを入れる。
└例:「皆さん！おはようございます！！」→「皆さん！ おはようございます！！」
- ・『...』(三点リーダー)は2回繰り返す
└原則、「...」はピリオドではなく三点リーダーを使い、2回くりかえしています。
例:「ざわ...ざわ...」→「ざわ.....ざわ.....」と表記します。
- ・記号は全角・英数字は半角を原則にし、計算式の場合などはどちらも半角にする。
- ・ユーザーが求める情報を伝える

- ・見出しを効果的に配置して、ユーザーが読みやすくする
- ・体系立てて、わかりやすくする
- ・基本的には、1文章につき、1つの内容にする(文章を長くしすぎない)
- ・段落を短くする(ユーザーが読みやすいようにする)
- ・小学5年生でも文章の内容がわかる内容にする
- ・できるだけ具体的に書く(例文などをうまく使う)
- ・箇条書きをうまく使う(わかりにくいことの要点をわかりやすくする)
- ・ユニバーサルスタジオジャパン(以下、USJ)など略語をつかえる場合はつかう

■表記・校正ポイントについて

- ・固有名詞はソースを必ず確認し、正しい表記にすること。出所・出典は、注記でなく、できるだけ本文に含める
 - ・ナンバー1、最高、最大など、最上級表現は根拠がない限り避ける。使用する場合は、出所、根拠を記載する
- ・英字・数字は半角 ・太字、機種依存文字は使わない ・単位は、キロ、メートル、センチ、グラム、などカタカナで記載する
- ・英字の固有名詞は全てカタカナ表記。初出のみ、カタカナ(英字)で表記する 例:ツイッター(**Twitter**)は・・・(初出のみ併記、以降はカタカナ) ただし日本でも通常、英字一般的な固有名詞の場合は英字でOK(LINE、Facebookなど) その場合、カタカナも検索対応するため、初出時にカッコで挟んでおく

【One Point!】 ひらがな表記にする漢字一覧

以下の漢字をひらがなに直すことにより、読みやすくなる場合があります。

Before	After
行う	おこなう
出来る	できる 「出来上がる」の場合は漢字
易く	やすく
達	たち
尚更	なおさら
揃って	そろって
等	など

為	為
時	とき
事	こと
凄い	すごい
～して下さい	～してください 「飴を下さい」は漢字
～して頂く	～していただく 「飴を頂く」は漢字
様々	さまざま
色々	いろいろ
但し	ただし
1つ1つ、1つ1つ	一つひとつ
無い	ない
有る	ある
予め	あらかじめ
致します	いたします
敢えて	あえて
1人1人	一人ひとり
1人	ひとり
という事	ということ
一層	いっそう
上手く	うまく
下さい	ください
且つ	かつ
付ける	つける
何となく	なんとなく
何ら	なんら
何れ	いずれ
何等	なんら
併せて	あわせて
例えば	たとえば
依って	よって
僅か	わずか
僕達	僕たち
先ず	まず
先程	さきほど
全く	まったく
全て	すべて
共に	ともに
分からない	わからない
分かる、判る	わかる
初め	はじめ
割と	わりと
勿論	もちろん
又は	または
及び	および
因って	よって
基づいて	もとづいて
後ほど	のちほど
従って	したがって
折角	せっかく
持つ	もつ ※動作の表すものは「持つ」でOK
挟んで	はさんで
改めて	あらためて
敢えて	あえて
既に	すでに
早速	さっそく

是非	ぜひ
最も	もっとも
柔らかい	やわらかい
流石	さすが
特に	とくに
確かに	たしかに
繋がる	つながる
良い	よい、いい
言う	いう
過ぎる	すぎる

【例】(漢字ver.)

『凄い事に、その時は様々な餡が有ったのだ。』

↓
 ↳ 近代文学のように味があるのですが、パッと見でなにが言いたいのかわかりません。

【例】(ひらがなver.)

『すごいことに、そのときはさまざまな餡があったのだ。』

↓
 ↳ 例文の意味はさておき、「餡」という主題に目がいきます。

このように漢字のほうがひらがなよりも情報量が多いので、パッと見でも漢字から文章の内容を掴むことができます。逆に、そのときに無用な漢字が多いと、なんの文章なのかわかりづらくなるのです。一覧に載せている漢字は内容を補助するものであるため、あえて存在感をうすくすることで主題を目立たせることができます。しかし、ひらがなにすることで、記事によっては幼稚に見えることがあります。そのため、厳格な雰囲気を持たせたいときや、公的なお知らせなどでは漢字とひらがなを使い分けていきましょう。

【One Point!】漢字表記一覧

ひとつひとつ、ひとりひとり	一つひとつ、一人ひとり
むずかしい	難しい
子ども	子供

【One Point!】カタカナ表記一覧

つらい	ツライ
めりはり	メリハリ
無理	ムリ
無駄	ムダ
おすすめ	オススメ

■記事の参考

記事を書く時は、下記のメディアの記事のような読みやすい記事を執筆してください。

<https://tokuteiginou-online.com/special/>

https://naiteibridge.com/online_japanese2021/

■記事を書く時、書き終えた時に確認するチェックシート

記事を書く時には、下記のことができているか、確認しながら執筆してください。

- ☐ 記事タイトルと記事の書き出し文章(導入文、フック文章)がその記事を全て読みたいと思える文章になっているか？
- ☐ オリジナリティが高い記事になっているか？(類似記事がないか？)
- ☐ FacebookやTwitterでシェアしたいと思える記事が書けているか？
- ☐ ユーザー目線で読みたい記事が書くことができているか？
- ☐ 誤字脱字はないか？
- ☐ 第三者を誹謗中傷する内容は書いていないか？
- ☐ 公序良俗に反した内容は書いていないか？
- ☐ 第三者の著作権は侵害していないか？

■表記について(前提)

Before (NG)	After (OK)
外人	外国人

●留意すべき考え方

・技能実習生はあくまで技能取得のために学びに来ている『実習生』であり、労働のための一部として雇ったりしてはいけなくなっている。

- 技能実習に関わる記事:外国人→実習生
- 特定技能に関わる記事:外国人→特定技能外国人

・事前知識として、技能実習の制度における受入れ企業のことを実習を行う先という意味合いで『実習実施者(実施者)』と呼ばれることが多々あります。

特定技能の方では上記の実施者という非常に特殊な受入れ企業の呼び方はないですが、外国人が所属している先ということで『所属機関』と呼ばれることもあります。

しかしながら、技能実習・特定技能ともに『受入れ企業』と統一してもらっても問題はないです。

制度については、主にJITCOというところが非常に分かりやすいので参考にしてもらえたらと思います

<https://www.jitco.or.jp/>